

## 第2章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

次代の大阪を担うすべての子どもたちが、安全で安心な環境の中で育ち、豊かな心をはぐくみながら、個性や創造性を発揮し、いきいきと自立して生きる社会、子どもを生み、育てることに安心と喜びを感じることでできる社会を、市民と協働し、社会全体で実現します。

### 2 重視する視点

本計画の策定及び推進にあたって、次に掲げる7つの視点を重視します。

#### (1) まず大切なのはこどもの視点です

施策の推進にあたっては、こどもの幸せを第一に考え、子どもにとって最善の利益が尊重されることが重要です。また、子ども一人ひとりの個性を大切に、自ら成長し、自立していこうとする力を見守り、はぐくむことを重視します。

#### (2) すべての子どもと子育て家庭が対象です

仕事と子育ての両立支援だけでなく、すべての子どもと子育て家庭を対象として、多様なニーズに柔軟に対応し、利用者の視点に立った総合的な施策の推進を図ります。

#### (3) 子ども一人ひとりの特性に応じた発達過程を重視します

子ども一人ひとりの特性に応じた発達過程をふまえ、効果的な施策を推進します。また、各発達段階は次のステップへの重要な土台となり、積み重ねながら成長していくことをふまえ、発達過程の連続性を重視した施策の推進を図ります。

#### (4) 長期的な視野に立って支援します

子どもは社会の一員として、自らの生涯をいきいきと生きていくとともに、次代の親となって家庭を築いたり、社会の将来の発展を担っていきます。こどもの幸せな未来を志向し、幼少期から青年期を通して、自立した社会人への成長を見据えた長期的な視野から支援します。

また、急速な少子化に対応するため、結婚、妊娠、出産及び育児を支える切れ目のない支援を行い、安心して子どもを生み、育てることができる社会を実現します。

#### (5) 大阪が持つ市民の力や多様な社会資源を有効に生かします

大阪市では、子育て経験豊かな主婦等も多く、これまでも地域のさまざまな団体やボランティア等により子どもをはぐくむ活動が進められています。また、市内には社会教育施設や文化・スポーツ施設、大学や専門学校等の教育機関、企業など、大都市ならではの多種多様な社会資源が集積しています。こうした大阪が持つ強みを最大限に生かします。

## (6) 仕事と生活の調和を可能とする社会をめざします

企業や関係機関等と連携し、男女が共に子育てしながら仕事しやすい環境づくりを推進し、だれもが就労による経済的自立が可能な社会、健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会、多様な働き方、生き方を選択できる社会を実現します。

## (7) 社会総がかりでこどもをはぐくみます

保護者が子育ての第一義的責任を有することが前提ですが、こどもは家庭のみならず、学校、地域など社会におけるさまざまな経験や人との交流を通じて成長していきます。また、家庭はもとより地域や社会から愛され育てられた経験こそが、地域を愛し、社会に貢献しようとする心をはぐくんでいきます。こどもを健やかにはぐくんでいくため、地域のつながりを一層強め、家庭や学校をはじめ、地域や企業など、社会総がかりで取り組んでいきます。

## 3 施策の基本方向

本計画が掲げる基本理念の実現をめざし、次の4つの施策の基本方向を設定して重点的に取り組みます。

### (1) こども・青少年の「生きる力」を育成します

次代の大阪を担うこどもや青少年が、個性や創造性を発揮しながら未来を切り開き、夢や希望に向かってたくましく生きる力をはぐくみます。

### (2) 安心してこどもを生み、育てられるよう支援する仕組みを充実します

自分にあったライフスタイルで、安心と喜びを実感しながらこどもを生み、育てられるよう支援する仕組みを充実します。

### (3) こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

すべてのこどもや青少年が健やかに成長し、社会の一員として自立できるよう、こどもや青少年、子育て家庭が抱えるさまざまな不安や課題に柔軟かつ着実に解決を図る仕組みを確立します。

### (4) こども・青少年や子育て家庭が安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めます

こどもや青少年、子育て家庭が、安全・安心で快適に日常生活や余暇を過ごすことができるまちづくりを社会全体で進めます。

## めざすべき目標像とはぐくみ指標

本計画の基本理念の実現に向け、4つの施策の基本方向ごとにめざすべき目標像を設定し、理念を共有化しながらそれぞれの施策を推進するとともに、その達成状況を数値によりわかりやすく示すものとして、「はぐくみ指標」を設定します。

また、基本理念を実現するためには、行政だけでなく、市民や関係機関、企業などさまざまな主体と共に取り組んでいくことが不可欠です。「はぐくみ指標」は、広く市民に向けて、行政施策がめざすべき目標像と達成状況をわかりやすく示すものでもあります。これらの目標像を、大阪市で暮らし、活動するすべての人と共有しながら、市民との協働による取組やさまざまな仕組みづくり、働きかけを通じて、社会全体で目標像の実現をめざします。

施策の基本方向	めざすべき目標像	はぐくみ指標
① 子ども・青少年の「生きる力」を育成します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもや青少年が健全な生活習慣を身につけ、自らを大切にするとともに、互いを尊重しあう仲間づくりに努める</li> <li>■子どもや青少年が社会のルールやマナーを守り、地域への愛着心や貢献意欲を持つ</li> <li>■若者が意欲を持って就業し、個性や才能を生かして活躍しながら、経済的にも自立できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分によいところがある」と思う子どもの割合</li> <li>○「将来の夢や目標を持っている」と答える子どもの割合</li> <li>○「人の役に立つ人間になりたい」と思う子どもの割合</li> </ul>
② 安心して子どもを産み、育てられるよう支援する仕組みを充実します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保護者が安心や喜びを感じながら子どもを生み、育てることができる</li> <li>■妊産婦や乳幼児と保護者の健康や生命を守る安心な環境が整っている</li> <li>■多様な働き方や生き方を選択できる社会的な仕組みが整い、希望する人が働き続けながら子どもを生み、育てることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てについて「楽しいと感じることの方が多し」と答える保護者の割合</li> <li>○「朝食を毎日食べていない」と答える子どもの割合</li> <li>○25～44歳の女性の有業率</li> </ul>
③ 子ども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健全な成長を阻害する危険な事象から子どもや青少年を守る社会的な仕組みが整っている</li> <li>■子どもや青少年がさまざまな困難を乗り越え、社会の中で自立して生きていける</li> <li>■さまざまな困難に直面する子どもや青少年、子育て家庭を支える社会的な仕組みが整っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられている」と感じる保護者の割合</li> <li>○「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまう」と答える保護者の割合</li> <li>○「いじめはどんな理由があってもだめだ」と思う子どもの割合</li> </ul>
④ 子ども・青少年や子育て家庭が安全・安心して快適に暮らせるまちづくりを進めます	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもや青少年が大阪市内で育つことを誇りに思い、保護者が大阪市内で子育てすることに満足を感じる</li> <li>■さまざまな危機事象から子どもや青少年、子育て家庭を守る社会的な仕組みが整っている</li> <li>■子どもや青少年に、さまざまな危機事象から自ら身を守る力や共に助けあう意識が育っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「将来ずっと大阪市内に住んでいたいと思う」と答える若者の割合</li> <li>○「お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足している」と答える保護者の割合</li> <li>○「お住まいの地域で子どもが巻き込まれる事故や犯罪が増加している」と感じる保護者の割合</li> </ul>